



米国利上げと欧州金融動向について

北陸銀行
ロンドン駐在員事務所
所長 高山光男

1. はじめに

国際金融市場で、2015年最大のイベントである米国FOMCが終了しました。これを受けて米国連邦準備理事会 (FRB) は、市場の予想通り0.25%の利上げを行い事実上のゼロ金利政策を解除しました。実に9年半ぶりの利上げであり、利下げも含めての政策金利変更は7年ぶりとなります。今まさに一人勝ちを思わせる米国経済はどのように動いてきたのか、また日本のアベノミクスとの関連を簡単に振り返りながら、現在のヨーロッパの金融経済動向について考えてみたいと思います。

2. 米国と日本の金利・為替について

- (1) 『1年間の金利について、米ドルが5%、ユーロも5%、日本円は0.1%の環境があったとします。もし、あなたが1億円保有していて、1年間の運用を考えた場合、どの通貨に投資をするでしょうか。』

為替が一定と仮定すると1億円の投資を米ドルにした場合500万円の利息、ユーロの場合も500万円となります。一方日本円は10万円の利息となりますので、米ドルやユーロへの投資をするのが一般的です。即ち金利の高い通貨に人気が集まり、金利の低い通貨は人気がなくなるのが、最近の金利と為替の関係です。この状況を上手く利用したのが、米国のオバマ大統領であり、最近のアベノミクスを打ち出した安倍総理といえます。2008年のリーマンショック以前は、まさに上記の様な状況で、1米ドルが124円、1ユーロが170円と大人気でした。リーマンショックで米国を中心に世界各国が景気低迷に入る中、オバマ大統領は直ぐに米国の金利の引き下げを行いました。米国金利の引き下げによって米ドルの大人気も失せてドル安への道に進みました。それが今の米国経済復活の牽引役となったのです。かつては5%した米国短期金利を0%まで下げることで、1ドル124円した為替レートも1ドル80円を切る円高ドル安へと誘導できたのです。

(2) 『なぜ、ドル安（自国通貨安）が経済復活の牽引役となったのか。』

為替が1ドル124円から80円までドル安が進むことで、米国の輸出産業は自分の会社を傷めず実質35%の値引きをして世界各国に販売できたこととなります。つまり自国通貨安による輸出産業の復活が自国経済の復活に繋がるという構図です。アベノミクスも同様に金利と為替の関係を上手く利用して、日本経済復活の牽引役を果たすべく自国通貨安（円安）を演出したこととなります。黒田氏を日銀総裁に任命し、大胆な金融緩和（金利の引き下げ）を継続的に行い、為替は80円から120円と円安誘導が成功した形になっています。

3. ヨーロッパの金融経済動向

これまで述べてきたように、米国に始まる金利低下（金融緩和）による自国通貨安を演出して自国経済を復活させる政策は、ヨーロッパでは、ギリシャ問題発生後一時取入れられましたが、その後はかなり否定的になりました。逆に言えば、それだけヨーロッパの景気（特にドイツの景気）は他の世界各国と比較して良かったといえると思われまます。

しかし、ウクライナ問題が勃発し、それが長期化する見通しの中で景況感が冷え込み、イスラム国によるテロの脅威等も広がって、イタリアやスペインなどでの設備投資が伸び悩んでいるのが現状です。いよいよ米国や日本がこれまで行ってきたことと同じ事をやらなくてはならない状況に2014年末よりなりつつあったといえます。欧州中央銀行は、2014年12月4日の理事会で景気見通しを下方修正し金利引き下げ（金融緩和）に本格参入してきた所以です。

4. 最後に

欧州は、日本と同じ道（金融緩和⇒自国通貨安⇒輸出を中心に景気復活）を念頭にした政策へとこの1年で移行してきました。7年前に米国が採った政策を日本がそして欧州が採用し始めているのです。米国は7年かけて景気回復に漕ぎ着けましたが、日本や欧州は何年で出来るか楽しみです。

米国が利上げを行い、欧州は利下げを行う。対ドルでユーロ通貨そのものは安くなりますが、日本も同じ事を行っているので、ユーロ対円の為替レートはあまり影響を受けないと思われまます。即ち、ドルの独歩高がこれから暫くは続くのではないのでしょうか。またイエレン米国連邦準備理事会議長による2014年6月の出口戦略の開始予告以来、一年半におよぶ市場との対話を通じて、市場は今回の利上げを織り込んできました。ドル実効為替レートは、利上げを織り込み2014年7月より2割上昇し、国際商品価格も利上げを発表する相当前の時点で4割下げています。したがってドルの独歩高のスピードは緩やかなものとなりそうです。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株) 人材情報センター内)

TEL: (076) 254-6500 FAX: (076) 254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp